



# ニュースレター

平成17年9月 Vol. 3

## 新任理事ご挨拶

川添 志

はじめまして。

今年度より当センターの理事として選任いただきました弁護士の川添志と申します。

弁護士としての職務上、「犯罪」との関わりは日常的にあります。刑事事件における弁護士の関与形態は、被疑者・被告人の弁護人活動が主眼となります。私自身、年間約20件の国選事件(事件の性質や被告人の資力の問題などから、国から選任されて被告人の弁護活動を担う事件)の弁護人を担当していますので、どうしても「犯罪被害者」の方々との接点は、依頼者・相談者というよりも「相手方」といった関係が主になります。そのような中で、被害者の方々と接し感じるのは、「どうして犯罪を行った人に当然に弁護士が就いて、不慮の犯罪に巻き込まれ、物心両面において苦痛を強いられている被害者に弁護士が就かないのか」との思いです。たしかに、刑事裁判における有罪率が99%以上の現状においては、ほとんどが「被告人=犯人」の場合ですから、そのような感情を持たれるのは至極当然なことだと思います。被告人の処罰に関する制度という刑事裁判の性格上やむを得ない点もあるのですが、被害を受けた紛れもない当事者である被害者が、物心共に立ち直ってこそ真の意味での問題解決といえますし、そのために専門家によるケアの必要性は痛感するところです。

昨今の犯罪被害者保護の動きから、犯罪被害者基本法をはじめ法制度も整備されつつありますが、具体的施策などまだまだ不十分な状況です。そのような犯罪被害者保護の過渡期にある現状において、支援センターの果たす意義・役割は非常に大きいと実感しますし、微力ながらその運営に関与させていただくことに責任を感じています。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## 2004年度収支決算書

(2004年4月1日～2005年3月31日)

収入 (単位:円)

科目	決算額
1 正会員会費	89,000
2 賛助金会費	3,699,000
3 寄付金	3,391,583
4 県補助金	1,000,000
6 雑収入	63,035
当期収入合計	8,242,618
前期繰越金	2,121,524
収入合計	10,364,142

支出

科目	決算額
1 電話相談事業	729,300
2 面接相談事業	430,080
3 自助組織支援事業	0
4 広報啓発活動事業	907,859
5 相談員等養成及び研修事業	184,000
6 被害者等実態調査・研究事業	14,037
7 共通する事務経費	1,922,329
8 予備費	158,700
当期支出合計	4,346,305
次期繰越金	6,017,837
支出合計	10,364,142

## 平成16年度 事業実施状況報告書

### 1、研修

- ・ 全国被害者支援ネットワーク 直接的支援セミナー参加 秋期全国研修会参加
- ・ 犯罪被害者支援全国フォーラム参加

### 2、電話相談員養成に関する事業

- ・ 第3期電話相談員研修会実施
- ・ フォローアップ研修会

### 3、広報啓発活動に関する事業

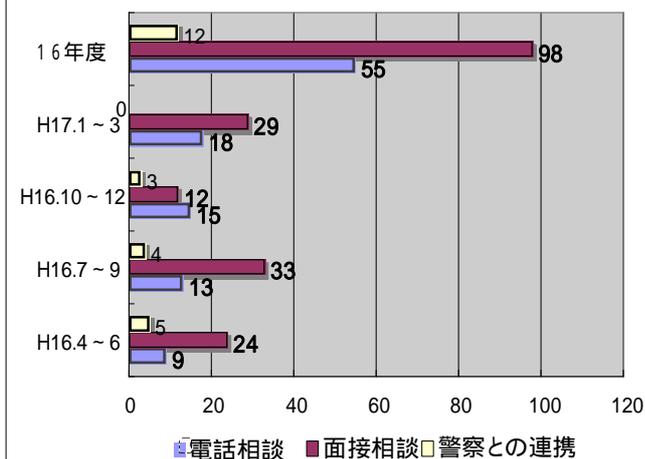
- ・ 犯罪被害者支援の日記念講演会
- ・ 全国犯罪被害者支援の会アピュイシンポジウムに協力
- ・ ながさき NPO フェア参加
- ・ 現行警察法施行50周年記念式典キャンペーンに協力
- ・ 県内各ロータリークラブ例会、長崎大学教育学部、瓊林会での講演等
- ・ ホームページ開設

### 4、運営

- ・ 運営委員会10回、理事会3回、総会1回
- ・ 長崎県被害者支援連絡協議会総会、実務担当者会議出席
- ・ 全国被害者支援ネットワーク評議会出席
- ・ 支援活動管理委員会出席

など

## 平成16年度 活動件数



## 電話相談受理状況

